【令和５年８月２５日　幹部予定者課程入校式　祝辞】

祝　　辞

本日，ここ海上自衛隊　第１術科学校大講堂において，第百三十三期幹部予定者課程の入校式が，厳粛に挙行されるに当たり，地元，江田島市民を代表して，お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程に御入校の皆様，本日は，誠におめでとうございます。

皆様は，これまで各部隊の最前線で多くの経験を積み重ね，そのキャリアと高い能力を認められ，指揮官となるべく，晴れて幹部予定者課程に入校されました。そのような皆様をお迎えできることは，江田島市として大きな喜びであり，心から歓迎を申し上げます。

現在，ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化，相次いでミサイル発射をする北朝鮮など，武力によって国際秩序を乱し，世界の平和が脅かされる事態に直面しております。

我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさと不確実性を増している中，国防を担う自衛隊の存在や，皆様への国民の期待は，非常に大きくなっております。

皆様には，ここ江田島の地で，幹部自衛官として，自衛官の心構えを改めて身につけ，各部隊で学びを活かし，国民の負託にこたえていただくことを期待しております。

皆様，御存知のとおり，ここ江田島市は，今から百三十五年前，明治二十一年，海軍兵学校が東京築地から移転し，その後，昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし現在に至る六十七年間，共存共栄・一体不可分の関係，少し柔らかい表現で言えば，相思相愛の関係を築き，皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

また，四季折々の美しい自然に囲まれ，秀峰古鷹を望む風光明媚な瀬戸の島として親しまれております。

本日御入校の皆様方には，訓練の合間に，江田島の人情に触れ，自然に触れ，島の魅力を存分に楽しみ，思い出深い学生生活を送っていただきたいと思います。

そして，ここ江田島市での生活が，皆様にとって実りある，充実したものになることを，強く願っております。

結びになります。日本国の繁栄，海上自衛隊の益々の御隆盛，御発展，そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を，心よりお祈り申し上げ，お祝いの言葉とさせていただきます。

令和五年八月二十五日

江田島市長　　明岳　周作